



**2018年3月期第2四半期**

---

# **決算説明会**

2017年11月15日

**株式会社エヌアイデイ**

# 目次

## 1. 会社概要

## 2. 2018年3月期第2四半期決算概要

## 3. 2018年3月期通期見通し

## 付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

# 1. 会社概要

# 会社概要

社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円 (2017年9月末現在)
事業内容	インバウンドソリューション事業、ICTイノベーション事業、 フィナンシャルシステム事業、ネットワークソリューション事業、その他事業
社員数	連結：1,443名 単体：981名 (2017年9月末現在)
発行済株式数	4,369,830株
株主数	941名 (2017年9月末現在)

# 事業の概要

## 当社グループ

### 連結子会社 (3社)

#### NID・MI

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・ファイナルシステム事業
- ・その他事業

#### NID東北

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業

#### NID・IE

- ・その他事業

### 当社

## エヌアイデー

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・ファイナルシステム事業
- ・ネットワークソリューション事業
- ・その他事業

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣



<資金の流れ>

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣



<資金の流れ>

お客様

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣

<資金の流れ>

## ビジネスパートナー

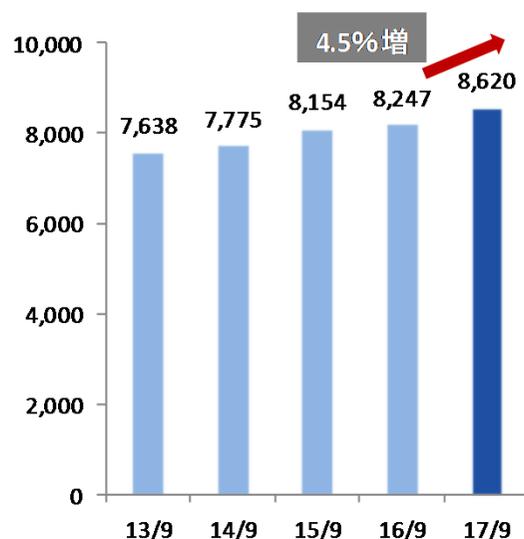
# 2. 2018年3月期第2四半期 決算概要

# 2018年3月期第2四半期決算の概況

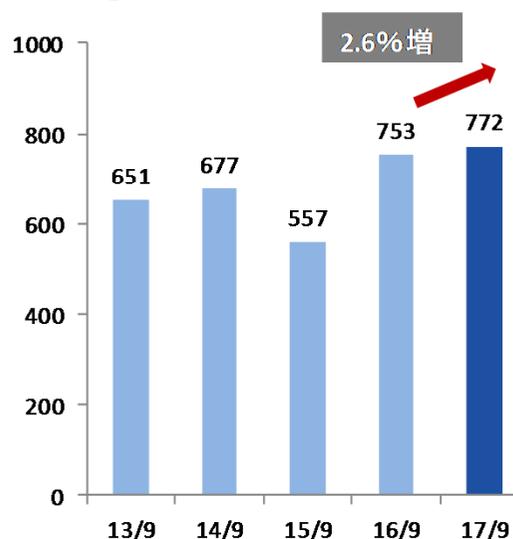
(単位：百万円)

	2017年3月期 2Q実績	2018年3月期 2Q期初予想	2018年3月期2Q実績		
			前期比	予想比	
売上高	8,247	8,400	8,620	+4.5%	+2.6%
営業利益	753 (9.1%)	650 (7.7%)	772 (9.0%)	+2.6%	+18.8%
経常利益	806 (9.8%)	700 (8.3%)	855 (9.9%)	+6.0%	+22.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	538 (6.5%)	490 (5.8%)	576 (6.7%)	+6.9%	+17.6%

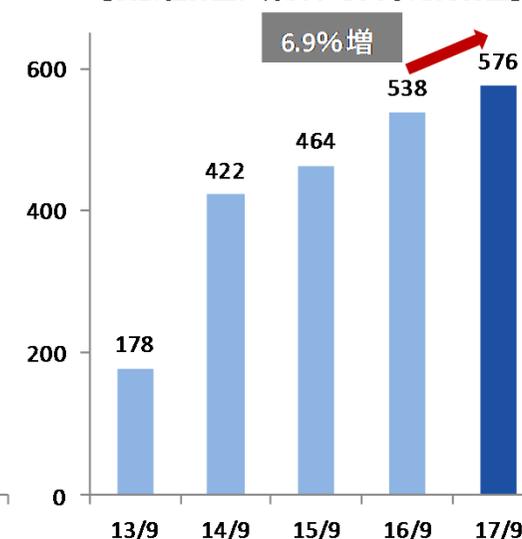
【売上高】



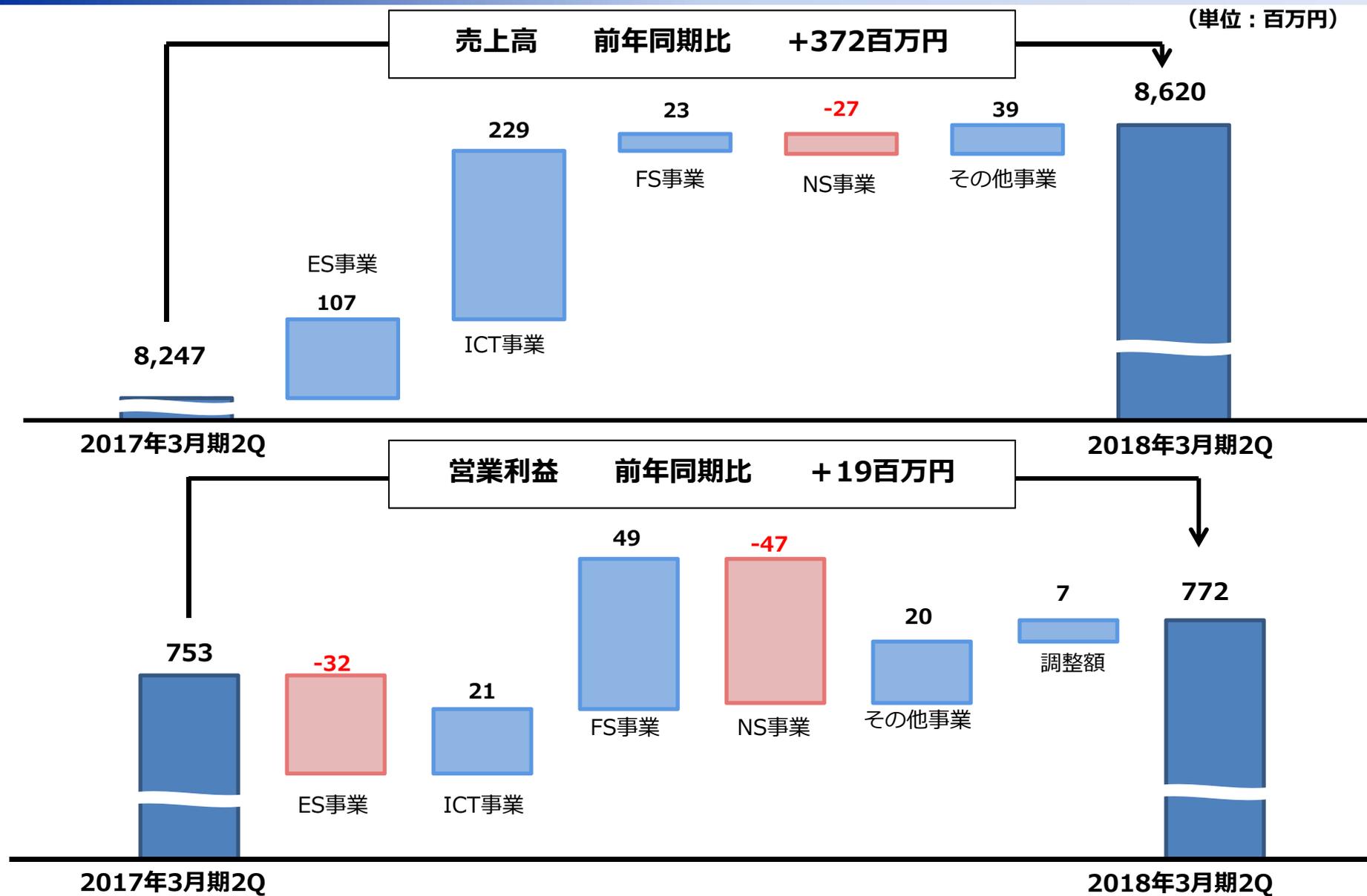
【営業利益】



【親会社株主に帰属する四半期純利益】

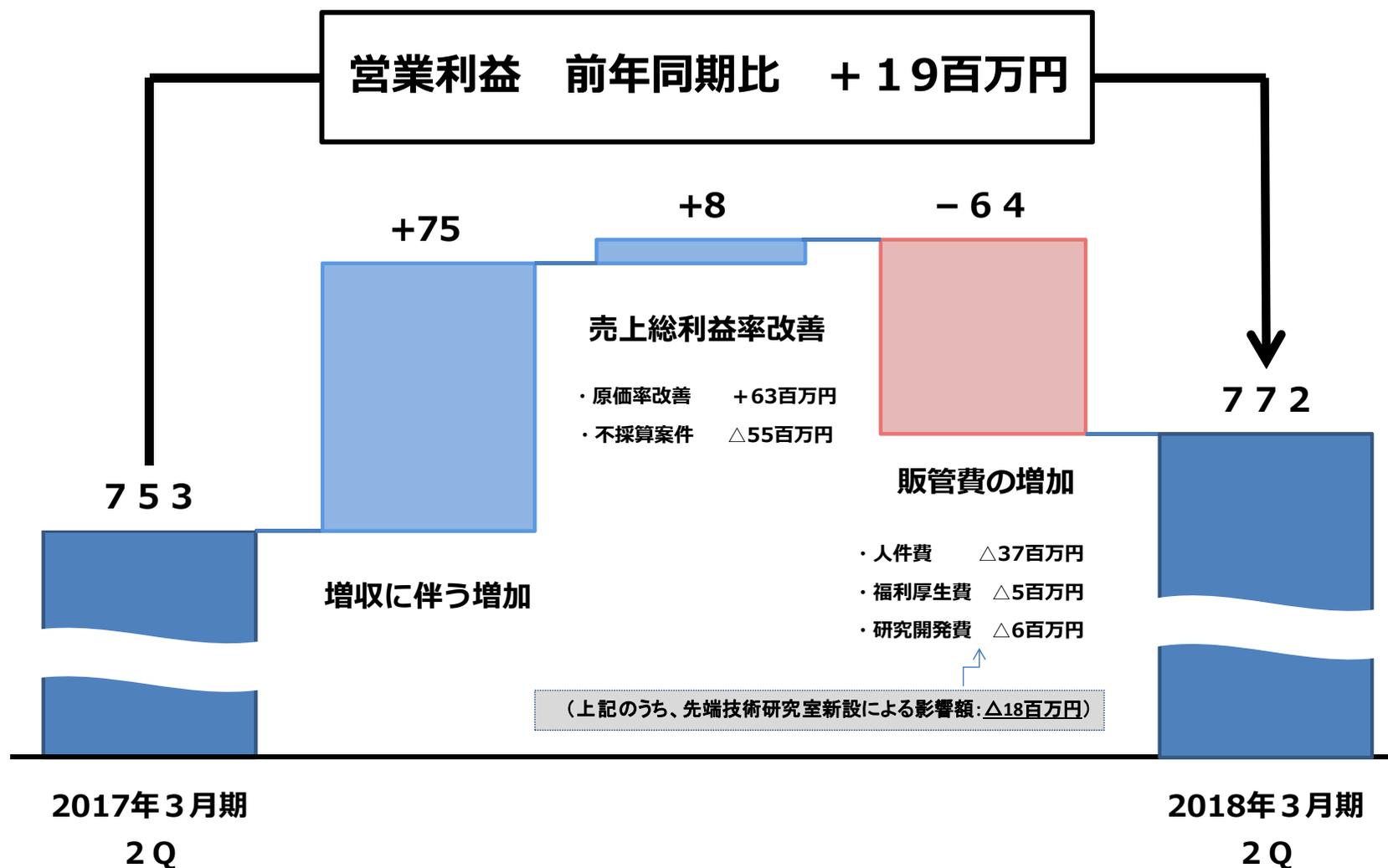


# 売上高・営業利益のセグメント別前年同期比較



# 営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：百万円）



# 連結貸借対照表

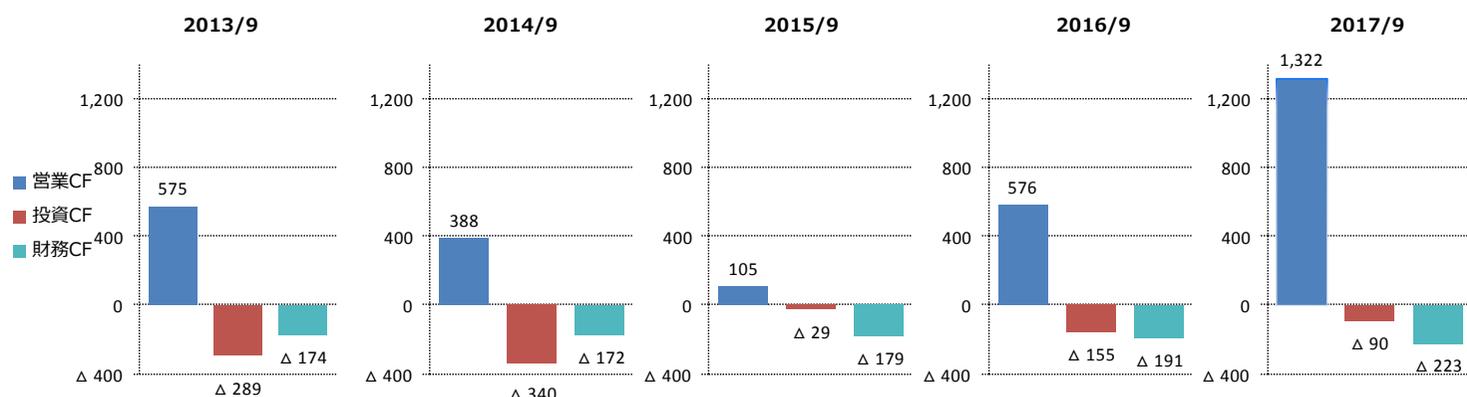
(単位：百万円)

	2017年 3月末	2017年 9月末	増減額	主な増減要因
流動資産	11,384 (73.1)	11,795 (73.9)	+411	現金及び預金 +1,008 受取手形及び売掛金 △813
固定資産	4,184 (26.9)	4,174 (26.1)	△10	
資産合計	15,569 (100.0)	15,969 (100.0)	+400	
流動負債	2,431 (15.6)	2,468 (15.5)	+37	未払法人税等 △94 その他の流動負債 +116
固定負債	2,884 (18.5)	2,905 (18.2)	+21	退職給付に係る負債 +33
負債合計	5,315 (34.1)	5,374 (33.7)	+58	
純資産合計	10,253 (65.9)	10,595 (66.3)	+341	利益剰余金 +356
負債純資産合計	15,569 (100.0)	15,969 (100.0)	+400	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2017年3月期 2 Q実績	2018年3月期 2 Q実績	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	576	1,322	+745	売上債権の増減額 +515 たな卸資産の増減額 +92 未払金の増減額 +67
投資活動によるCF	△ 155	△ 90	+64	有価証券の取得による支出 △100 投資有価証券の取得による支出 +219 投資有価証券の売却及び償還による収入 △105
財務活動によるCF	△ 191	△ 223	△ 32	配当金の支払額 △30
現金及び現金同等物期末残高	6,703	8,150		



# セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

セグメント名	2017年3月期 2Q実績		2018年3月期 2Q期初予想		2018年3月期 2Q実績			前期比		予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エンベデッド ソリューション事業	1,280	69	1,536	112	1,387	37	2.7%	+8.4%	△46.9%	△9.7%	△67.1%
ICT イノベーション事業	1,663	140	1,727	119	1,893	161	8.5%	+13.8%	+15.4%	+9.6%	+35.4%
フィナンシャル システム事業	2,029	277	2,021	250	2,053	327	16.0%	+1.2%	+17.9%	+1.6%	+30.8%
ネットワーク ソリューション事業	2,532	229	2,368	132	2,505	182	7.3%	△1.1%	△20.5%	+5.8%	+38.0%
その他事業	741	23	746	34	780	43	5.6%	+5.3%	+86.9%	+4.6%	+24.1%
連結計	8,247	753	8,400	650	8,620	772	9.0%	+4.5%	+2.6%	+2.6%	+18.8%

# エンベデッドソリューション事業

(単位：百万円)

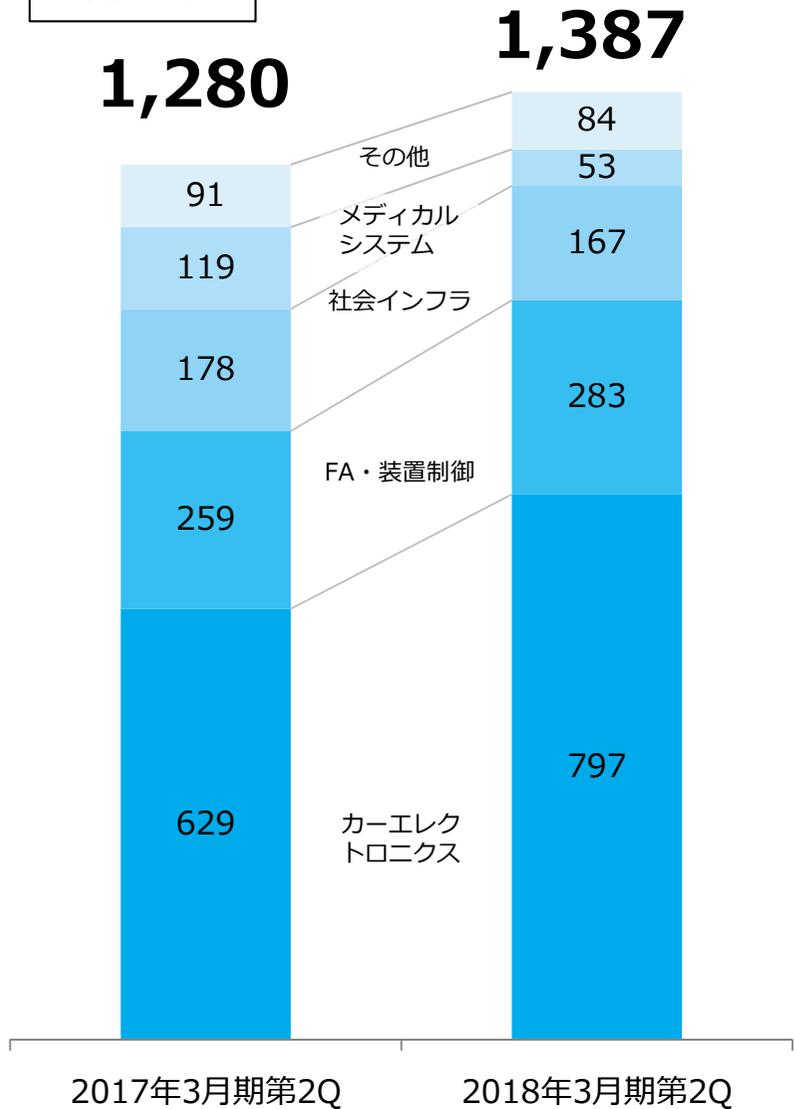
## ■売上高、営業利益

	2017年 3月期 2 Q	2018年 3月期 2 Q	前期比
売上高	<b>1,280</b>	<b>1,387</b>	<b>+8.4%</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>69</b> <b>(5.5%)</b>	<b>37</b> <b>(2.7%)</b>	<b>△46.9%</b>

## ■分野別売上高構成

カーエレクトロニクス	<b>629</b>	<b>797</b>	<b>+26.6%</b>
FA・装置制御	<b>259</b>	<b>283</b>	<b>+9.2%</b>
社会インフラ	<b>178</b>	<b>167</b>	<b>△6.3%</b>
メディカルシステム	<b>119</b>	<b>53</b>	<b>△55.4%</b>
その他	<b>91</b>	<b>84</b>	<b>△7.3%</b>

## ■売上高



# ICTイノベーション事業

## ■売上高、営業利益

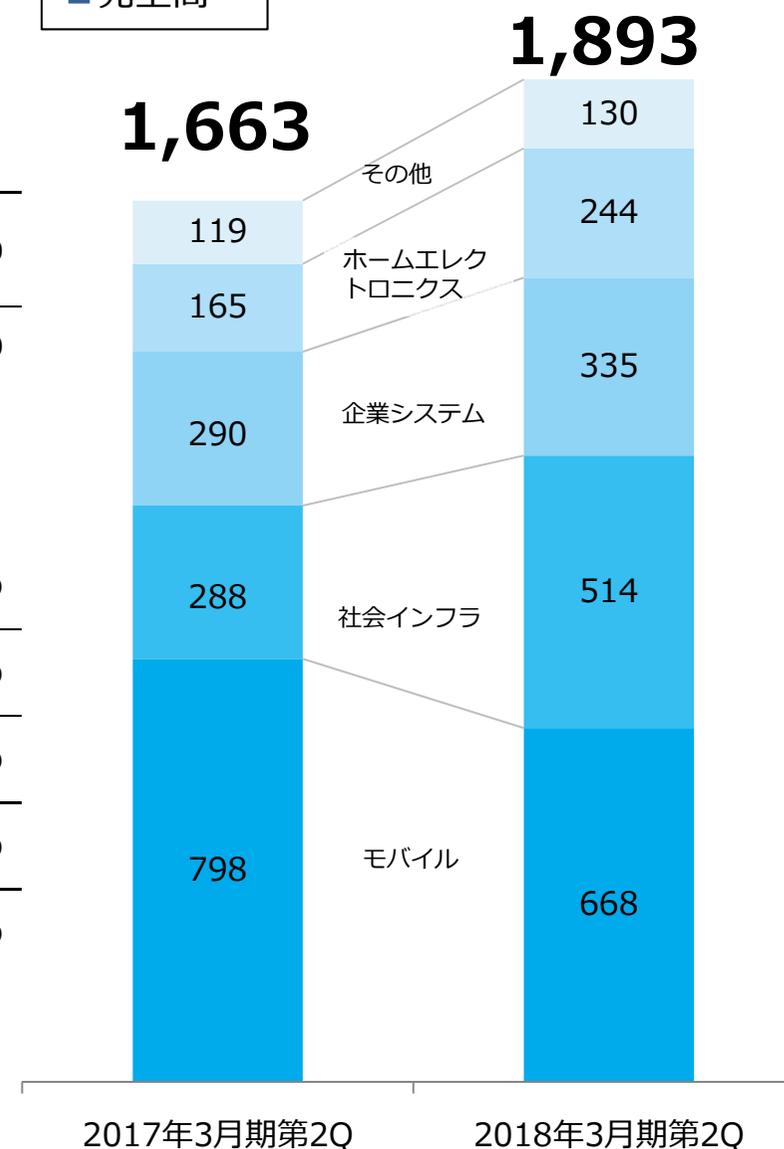
	2017年 3月期 2Q	2018年 3月期 2Q	前期比
売上高	<b>1,663</b>	<b>1,893</b>	<b>+13.8%</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>140</b> (8.4%)	<b>161</b> (8.5%)	<b>+15.4%</b>

## ■分野別売上高構成

モバイル	<b>798</b>	<b>668</b>	<b>△16.3%</b>
社会インフラ	<b>288</b>	<b>514</b>	<b>+77.9%</b>
企業システム	<b>290</b>	<b>335</b>	<b>+15.6%</b>
ホームエレクトロ ニクス	<b>165</b>	<b>244</b>	<b>+47.3%</b>
その他	<b>119</b>	<b>130</b>	<b>+9.5%</b>

## ■売上高

(単位：百万円)



# フィナンシャルシステム事業

## ■売上高、営業利益

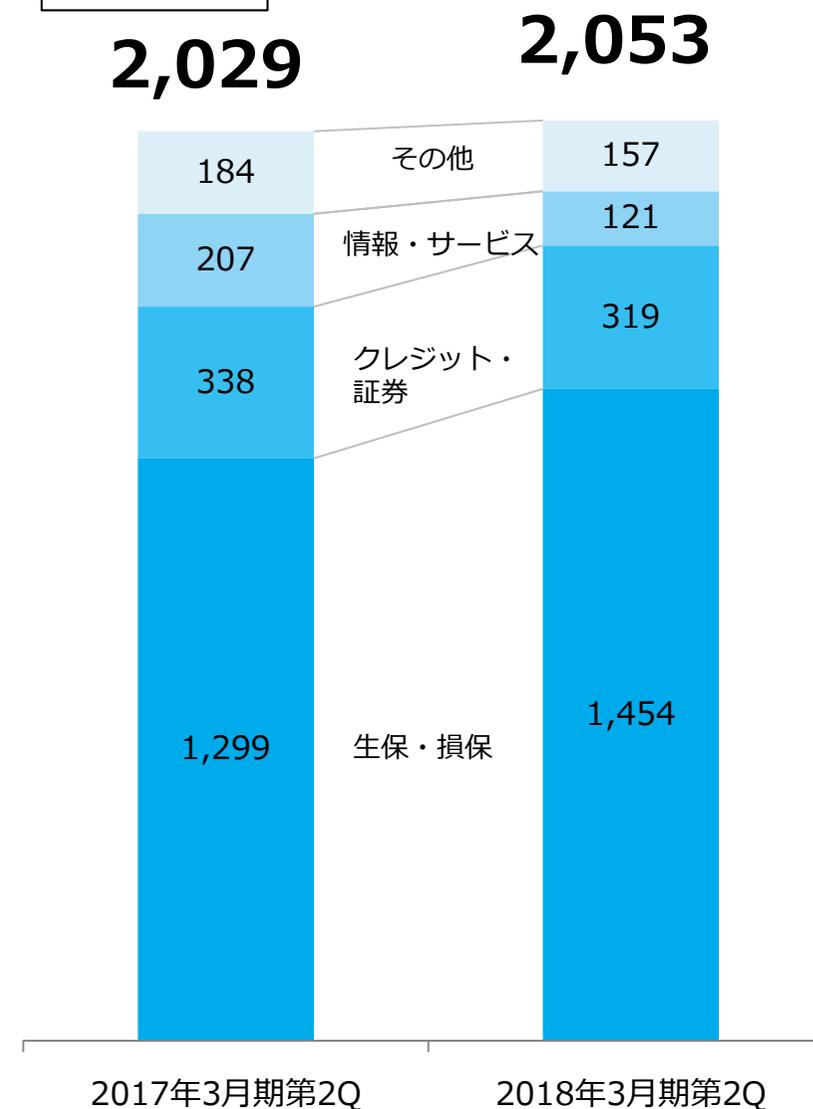
	2017年 3月期 2Q	2018年 3月期 2Q	前期比
売上高	<b>2,029</b>	<b>2,053</b>	<b>+1.2%</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>277</b> (13.7%)	<b>327</b> (16.0%)	<b>+17.9%</b>

## ■分野別売上高構成

生保・損保	<b>1,299</b>	<b>1,454</b>	<b>+11.9%</b>
クレジット・証券	<b>338</b>	<b>319</b>	<b>△5.5%</b>
情報・サービス	<b>207</b>	<b>121</b>	<b>△41.5%</b>
その他	<b>184</b>	<b>157</b>	<b>△14.3%</b>

## ■売上高

(単位：百万円)



# ネットワークソリューション事業

## ■売上高、営業利益

	2017年 3月期 2 Q	2018年 3月期 2 Q	前期比
売上高	<b>2,532</b>	<b>2,505</b>	△1.1%
営業利益 (営業利益率)	<b>229</b> (9.1%)	<b>182</b> (7.3%)	△20.5%

## ■分野別売上高構成

運輸	<b>1,057</b>	<b>1,072</b>	+1.5%
金融・保険	<b>654</b>	<b>604</b>	△7.6%
官公庁・団体	<b>240</b>	<b>255</b>	+6.2%
製造	<b>273</b>	<b>218</b>	△19.9%
卸売・小売	<b>88</b>	<b>57</b>	△34.7%
その他	<b>218</b>	<b>295</b>	+35.4%

## ■売上高

(単位：百万円)

**2,532**                      **2,505**



2017年3月期第2Q

2018年3月期第2Q

# その他事業

(単位：百万円)

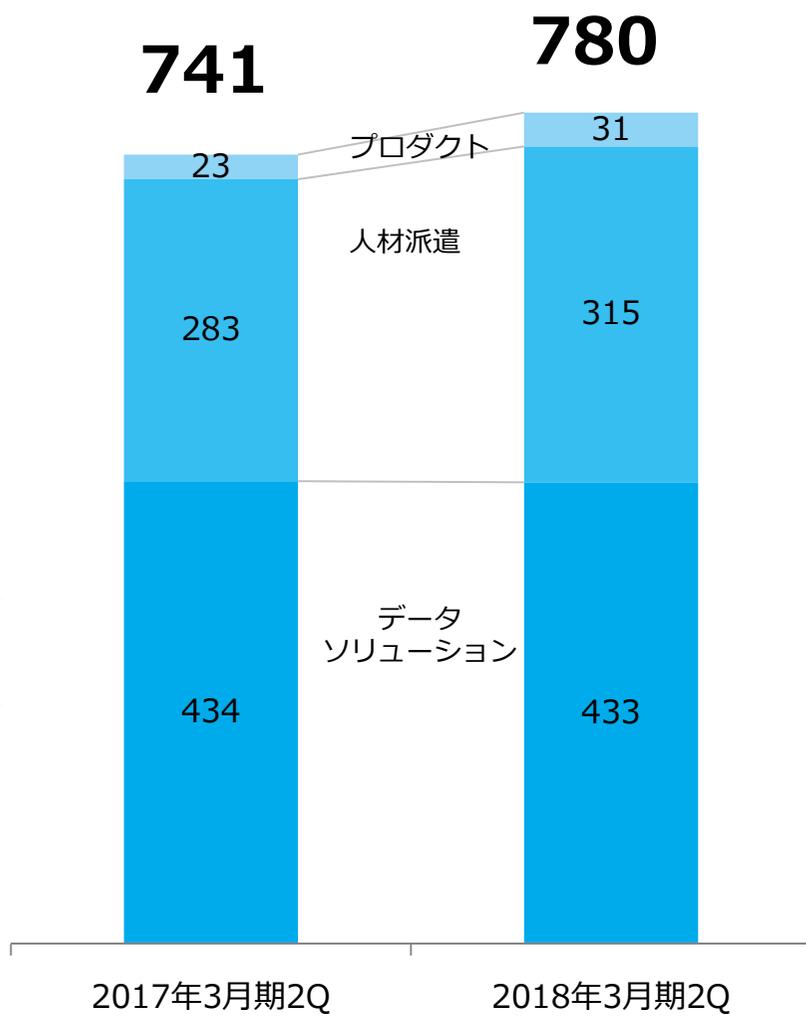
## ■売上高、営業利益

	2017年 3月期 2Q	2018年 3月期 2Q	前期比
売上高	<b>741</b>	<b>780</b>	<b>+5.3%</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>23</b> (3.1%)	<b>43</b> (5.6%)	<b>+86.9%</b>

## ■分野別売上高構成

データ ソリューション	<b>434</b>	<b>433</b>	$\Delta$ <b>0.2%</b>
人材派遣	<b>283</b>	<b>315</b>	<b>+11.2%</b>
プロダクト	<b>23</b>	<b>31</b>	<b>+37.5%</b>

## ■売上高



# 3. 2018年3月期通期見通し

	中期経営計画での想定	足許の状況についての認識
①市場環境	国内ITサービス市場の成長は今後鈍化。既存の受託開発システムは縮小。一方、IoT、AI、ビッグデータ、クラウドなどは伸長。	企業収益の改善傾向、及び大企業のIT投資拡大傾向が続き、伸び率も拡大傾向。クラウド、ビッグデータは普及期に入り、IoT、AIも期待先行から概念実証の取組の段階に移行しつつある。
②顧客動向	IT投資は企業の競争力強化（攻めのIT）へシフト（事業の差別化・柔軟でスピードある変革）	社内業務（間接業務）の効率化・利便性向上のための投資意欲も強い一方で、攻めのIT投資のスピードアップを図る企業も。
③社会環境	生産年齢人口は今後大きく減少	特定スキルを保有する人材の確保が更に難しい状況

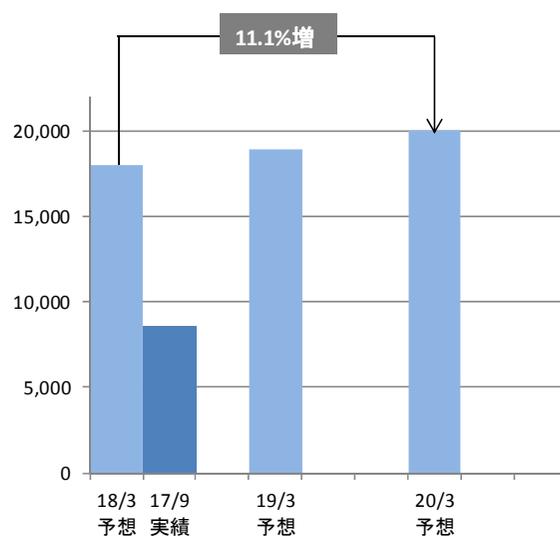
- （2017年度下期）大企業のIT投資は拡大傾向にあるが、企業により重点分野の違いが鮮明化しつつあり、それに伴い特定分野の技術者の不足感も拡大

# 中期経営計画～財務目標

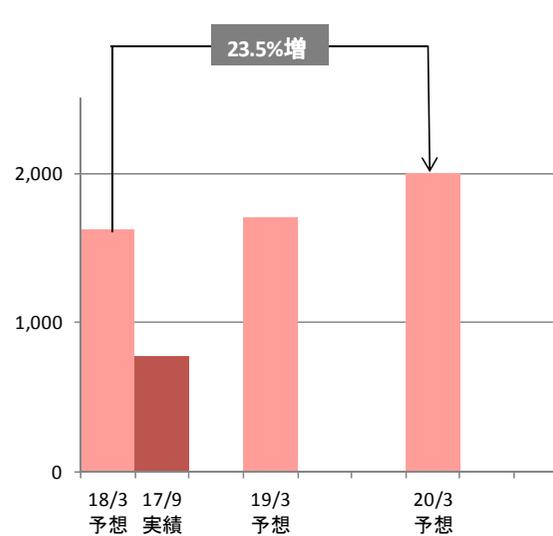
(単位：百万円)

	2018年3月期 予想	2018年3月期 2Q実績		2019年3月期 予想	2020年3月期 予想	
			進捗率			18年3月期 予想比
売上高	18,000	8,620	47.9%	18,900	20,000	+11.1%
営業利益	1,620 (9.0%)	772 (9.0%)	47.7%	1,700 (9.0%)	2,000 (10.0%)	+23.5%

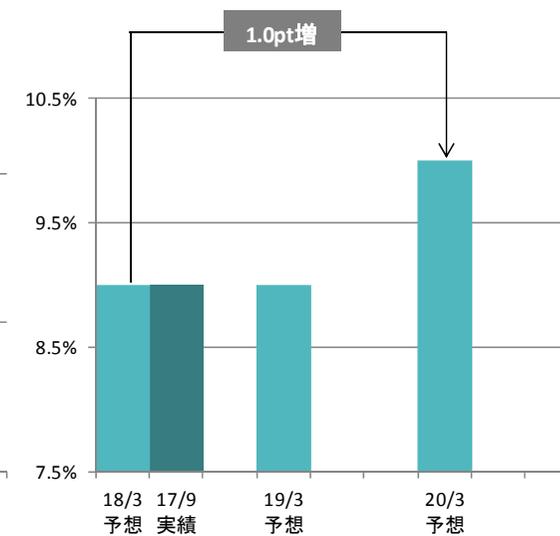
【売上高】



【営業利益】



【営業利益率】



# 中期経営計画～戦略（注力分野）

## <AI戦略>

ES事業／ICT事業／FS事業／NS事業

- 自然言語処理は実装に向けた研究が進展、画像認識の研究にも着手

## <クラウド・インテグレーション戦略>

ICT事業／NS事業

- AWSパートナー認定取得、AWS認定資格取得者増強

## <IoT&スマートファクトリー戦略>

ICT事業

- IoTに関連した新規技術要素（各種センサー、画像処理等）、ビッグデータ解析のスキル強化

## <自動車CASE戦略（\*）>

ES事業

- 自動運転SoC開発、IVI関連開発等を継続
- CASEの各主要分野での受注拡大に注力

## <プライムアカウント戦略>

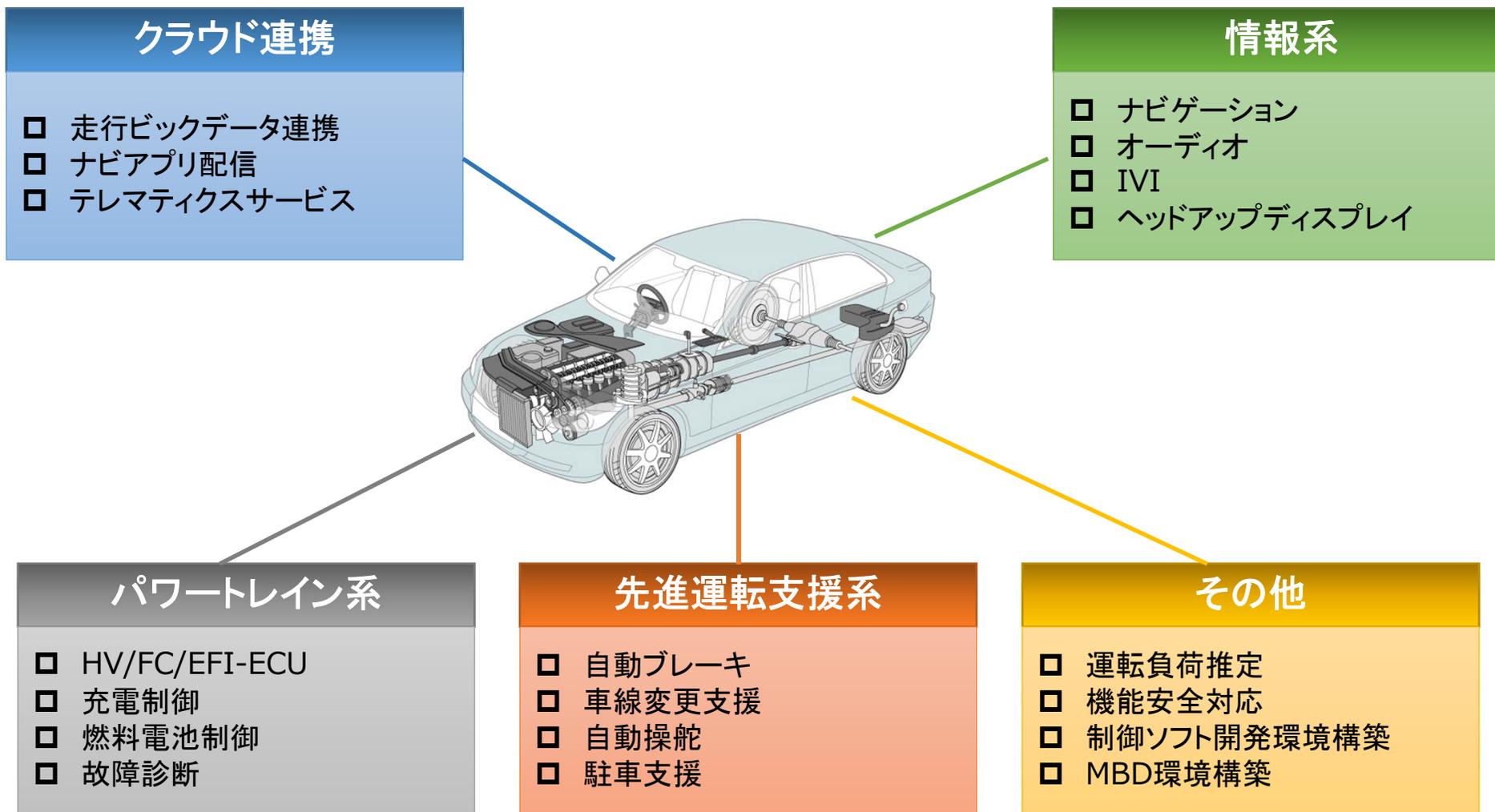
ES事業／ICT事業／FS事業／NS事業

- アカウントプランの充実（戦略に応じた対象社数増強、顧客の中長期戦略への適合）

（\*）CASE：コネクティビティ（接続性）の「C」、オートノマス（自動運転）の「A」、シェアード（共有）の「S」、エレクトリック（電動化）の「E」

# 注力分野～自動車CASE戦略について

## ＜カーエレクトロニクス分野の取り組み実績＞



(\*)CASE : コネクティビティ(接続性)の「C」、オートノマス(自動運転)の「A」、シェアード(共有)の「S」、エレクトリック(電動化)の「E」

# 2018年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比
売上高	17,683	18,000	+1.8%
営業利益	1,834 (10.4%)	1,620 (9.0%)	△11.7%
経常利益	1,967 (11.1%)	1,720 (9.6%)	△12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,304 (7.4%)	1,190 (6.6%)	△8.8%

# セグメント別見通し

(単位：百万円)

セグメント名	2017年3月期 実績		2018年3月期 当初予想		2018年3月期 修正予想		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益率
エンベデッド ソリューション事業	2,990	279	3,291	280	3,002	151	5.0%
ICT イノベーション事業	3,700	331	3,701	298	3,848	323	8.4%
フィナンシャル システム事業	4,274	662	4,332	624	4,340	681	15.7%
ネットワーク ソリューション事業	5,105	463	5,076	329	5,187	356	6.9%
その他事業	1,612	86	1,599	87	1,621	87	5.4%
連結計	17,683	1,834	18,000	1,620	18,000	1,620	9.0%

# セグメント別上期実績／下期見通し

## <エンベデッドソリューション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	1,536	1,387	△ 149	売上	1,755	1,615	△ 140
営業利益	112	37	△ 75	営業利益	168	114	△ 54
営業利益率	7.3%	2.7%		営業利益率	9.6%	7.1%	
<b>【売上】</b> ・カーエレ分野での大型案件終了による影響を新規受注でカバーできず <b>【利益】</b> ・売上減及び不採算案件の影響により利益減				<b>【売上】</b> ・引き続きカーエレ分野に注力するも、メディカルシステム分野及び社会インフラ分野の伸びが鈍化しており当初予想を下方修正 <b>【利益】</b> ・売上減に伴い当初予想を見直す			

# セグメント別上期実績／下期見通し

## <ICTイノベーション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	1,727	1,893	166	売上	1,974	1,955	△ 19
営業利益	119	161	42	営業利益	178	162	△ 16
営業利益率	6.9%	8.5%		営業利益率	9.0%	8.3%	
<b>【売上】</b> ・社会インフラ分野での受注増が貢献 ・企業システム分野での開発案件受注が貢献 <b>【利益】</b> ・社会インフラ分野での効率化により収益性向上 ・企業システム分野での増収及びモバイル分野でのプロジェクト管理強化による採算性改善が貢献				<b>【売上】</b> ・引き続き社会インフラ分野及び企業システム分野の受注が堅調に推移する ・IoTに関連した新規技術要素領域(各種センサー、画像処理等)の受注を見込むも苦戦が予想される <b>【利益】</b> ・売上減に伴い当初予想を見直すものの、通期では当初予想並みを見込む			

# セグメント別上期実績／下期見通し

## <フィナンシャルシステム事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	2,021	2,053	32	売上	2,310	2,287	△ 23
営業利益	250	327	77	営業利益	374	354	△ 20
営業利益率	12.4%	16.0%		営業利益率	16.2%	15.5%	
<b>【売上】</b> ・生保・損保分野でのシステム刷新案件受注増が貢献 <b>【利益】</b> ・生保・損保分野での売上増及び得意分野に集中したことによる効率化が貢献				<b>【売上】</b> ・生保・損保分野での大手主要顧客システム刷新案件によるプラス効果は下期も継続 ・一方、その他の顧客からの受注獲得では苦戦が予想される <b>【利益】</b> ・売上減に伴い当初予想を見直すものの、通期では当初予想並みを見込む			

# セグメント別上期実績／下期見通し

## <ネットワークソリューション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	2,368	2,505	137	売上	2,708	2,682	△ 26
営業利益	132	182	50	営業利益	197	174	△ 23
営業利益率	5.6%	7.3%		営業利益率	7.3%	6.5%	
<b>【売上】</b> ・運輸分野大手顧客からの受注が堅調に推移 ・既存取引先との取引条件改善と増員が貢献 <b>【利益】</b> ・業務効率化及び取引条件改善により収益性向上				<b>【売上】</b> ・大型案件の終了による前期比売上減を補う計画であった新規案件受注を厳しく見込む <b>【利益】</b> ・売上減に伴い当初予想を見直すものの、通期では当初予想並みを見込む			

# セグメント別上期実績／下期見通し

## <その他事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	746	780	34	売上	853	841	△ 12
営業利益	34	43	9	営業利益	53	44	△ 9
営業利益率	4.6%	5.6%		営業利益率	6.2%	5.2%	
<b>【売上】</b> ・各分野とも堅調に推移 <b>【利益】</b> ・増収に伴う増益				<b>【売上】</b> ・引き続き堅調 <b>【利益】</b> ・通期では当初予想並みを見込む			

**50<sup>th</sup>  
anniversary**

 **NID**

# 付録：データ資料

# 主要な経営指標推移

(百万円)

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 (予想)	17年3月期 2Q	18年3月期 2Q
売上高	16,119	16,228	17,102	17,683	18,000	8,247	8,620
増減率	(+3.8)	(+0.7)	(+5.4)	(+3.4)	(+1.8)	(+1.1)	(+4.5)
営業利益	1,441	1,415	1,544	1,834	1,620	753	772
率(対売上高)	(8.9)	(8.7)	(9.0)	(10.4)	(9.0)	(9.1)	(9.0)
増減率	(+42.4)	(△1.8)	(+9.1)	(+18.7)	(△11.7)	(+35.2)	(+2.6)
経常利益	1,500	1,558	1,717	1,967	1,720	806	855
親会社株主に帰属する 当期純利益	646	791	957	1,304	1,190	538	576
率(対売上高)	(4.0)	(4.9)	(5.6)	(7.4)	(6.6)	(6.5)	(6.7)
増減率	(+10.4)	(+22.4)	(+21.0)	(+36.3)	(△8.8)	(15.9)	(+6.9)
1株あたり 当期純利益(EPS)	170.86	209.00	252.82	344.72	314.37	142.34	152.23
純資産	7,386	8,348	9,042	10,253		9,420	10,595
株主資本利益率(ROE)	9.0	10.2	11.0	13.5			
1株あたり配当額	45円	47円	50円	58円	53円		

(注) うち5円記念配当

# 株主還元施策

- 3期連続の増配（3円増額）
- 50周年記念配当実施（5円増額）
- 安定した配当を継続予定

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期 (予想)
年間配当金	47円	50円	58円 (記念配5円)	53円
連結配当性向	22.5%	19.8%	16.8%	16.9%